

2006年5月26日

各 位

日本電気硝子株式会社
(証券コード 5214)
東証・大証 各一部
住友商事株式会社
(証券コード 8053)
東証・大証・名証各一部・福岡

中国に液晶用板ガラス加工供給拠点を開設へ
上海広電光電子と合弁契約を締結

日本電気硝子株式会社（滋賀県大津市 社長井筒雄三）と住友商事株式会社（東京都中央区 社長岡素之）は、中国の上海広電（SVA）グループの上海広電光電子有限公司との間で、中国での液晶パネル用ガラス加工合弁事業について合意しました。5月27日に、現地で合弁契約に調印します。合弁会社「電気硝子(上海)広電有限公司」は投資額約50億円で上海市にTFT液晶パネル用板ガラスの加工工場を建設、2007年9月に操業を開始する計画です。

日本、韓国、台湾に続いて中国でもTFT液晶パネルの生産が急速に立ち上がりつつあります。SVAグループはNECとの合弁で「上海広電 NEC 液晶显示器有限公司（SVA-NEC）」を設立、2005年1月から第5世代のTFT液晶パネル工場を操業しています。今回の合弁はSVA-NECにおける液晶パネル生産に対応して現地供給体制を整えるもので、日本電気硝子の国内工場から供給するガラス原板を現地で加工しSVA-NECなどに供給する計画です。

日本電気硝子は現在、日本国内でTFT液晶パネル用ガラス原板を生産、国内のほか需要地である韓国、台湾に加工工場を持ち国内外の液晶パネルメーカーに供給しています。電気硝子(上海)広電は、韓国（2工場）、台湾（1工場）に次ぐ海外で4箇所目の液晶パネル用板ガラス生産供給拠点となります。

合弁事業計画の概要は次のとおりです。

- ・合弁会社名 電気硝子(上海)広電有限公司 (Electric Glass-SVA (Shanghai) Co., Ltd.)
- ・所在地 中華人民共和国上海市莘庄工業区
- ・設立時期 2006年6月(予定)
- ・事業内容 TFT液晶パネル用板ガラスの加工、販売
- ・登録資本 1550万米ドル(約17億円)
- ・出資比率 日本電気硝子：65% 上海広電光電子：20% 住友商事：12.5%
中国住友商事グループ：2.5%
- ・投資金額 約50億円
- ・投資内容 液晶パネル用板ガラス加工工場(加工設備1ライン)
生産能力：月産20万m²
- ・操業開始時期 2007年9月(予定)

以 上

本件お問合せ先 日本電気硝子株式会社総務部広報担当 Tel. 077-537-1702
住友商事株式会社広報部 Tel: 03-5166-3096